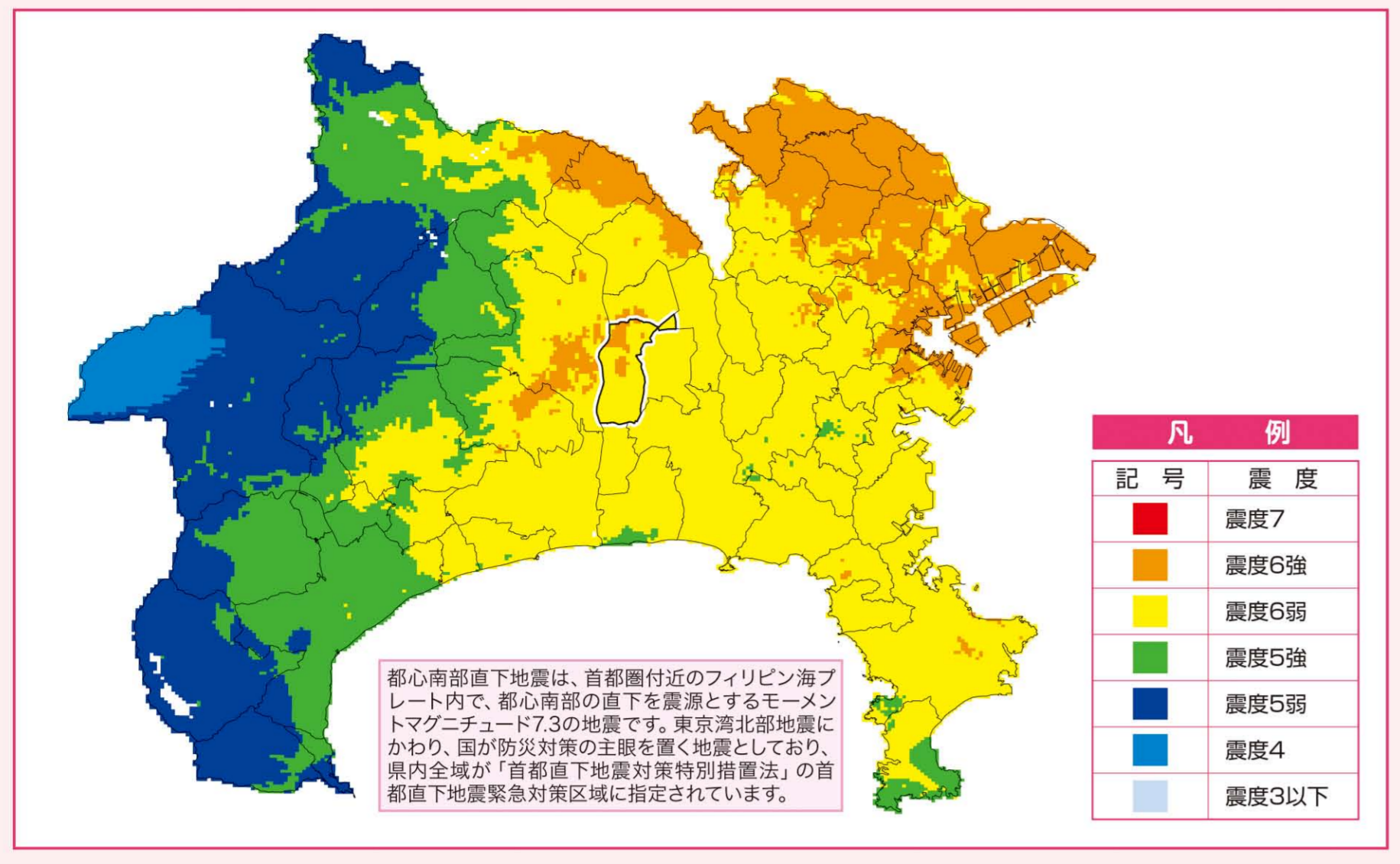
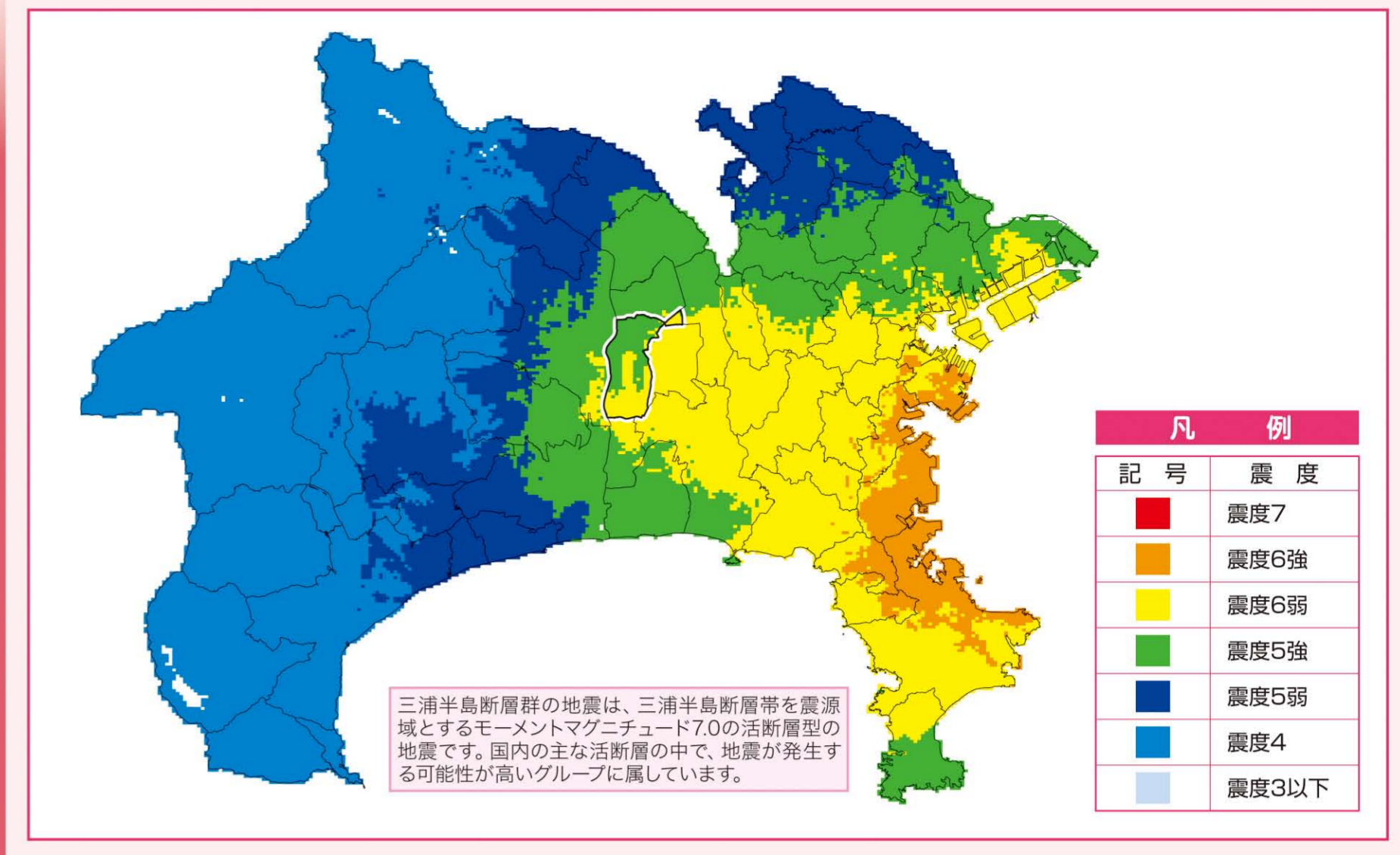


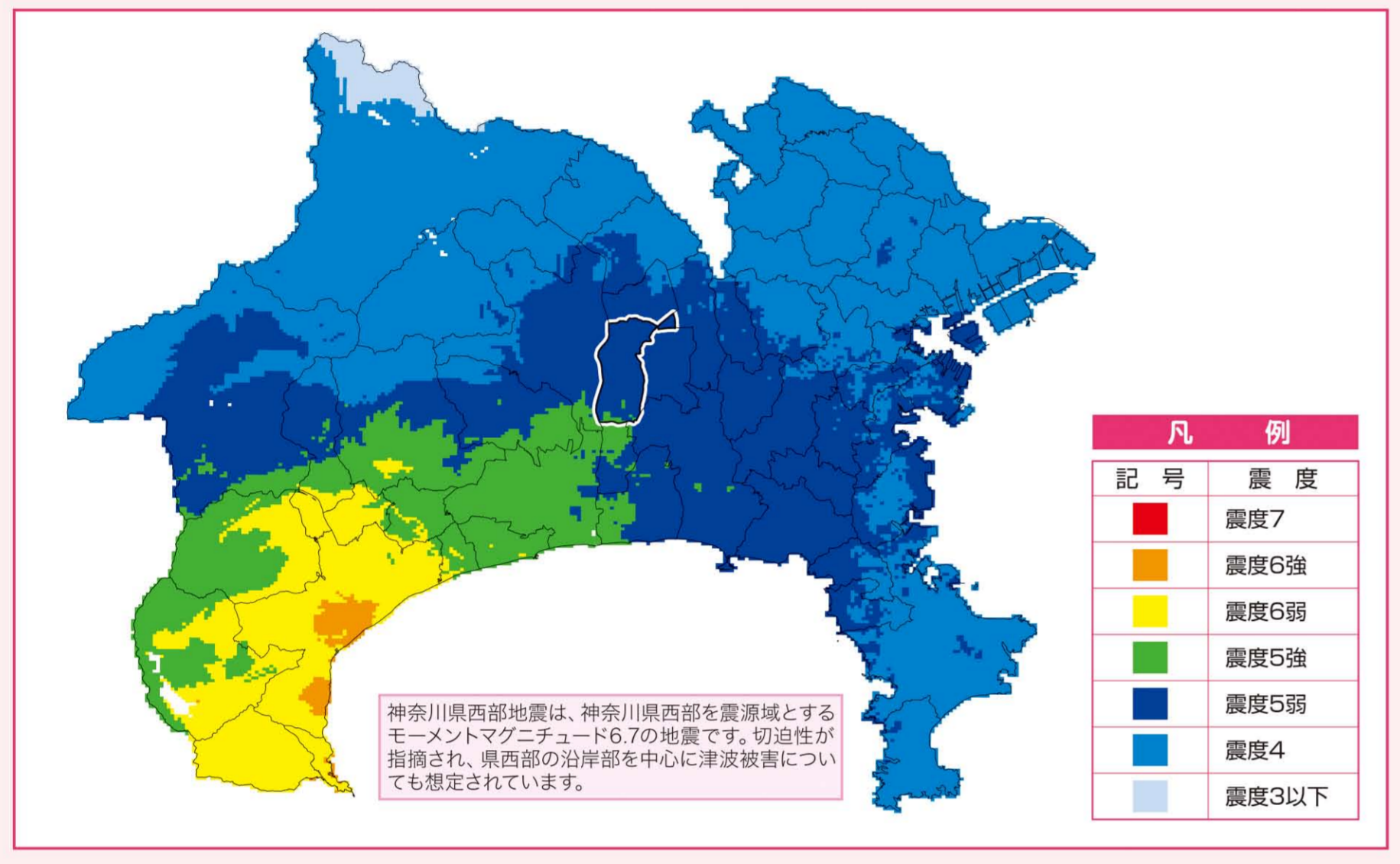
① 都心南部直下地震 震度分布図



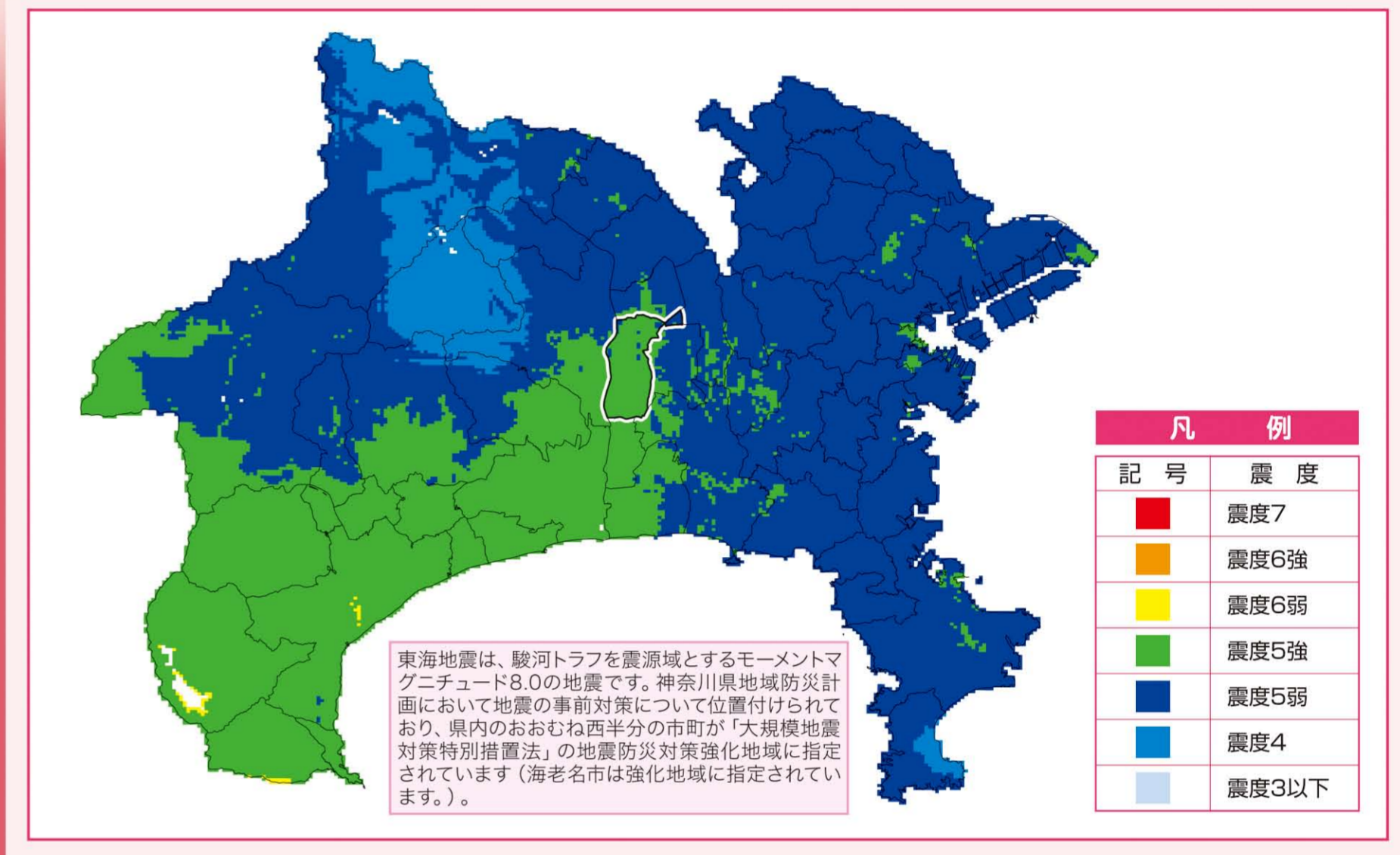
② 三浦半島断層群の地震 震度分布図



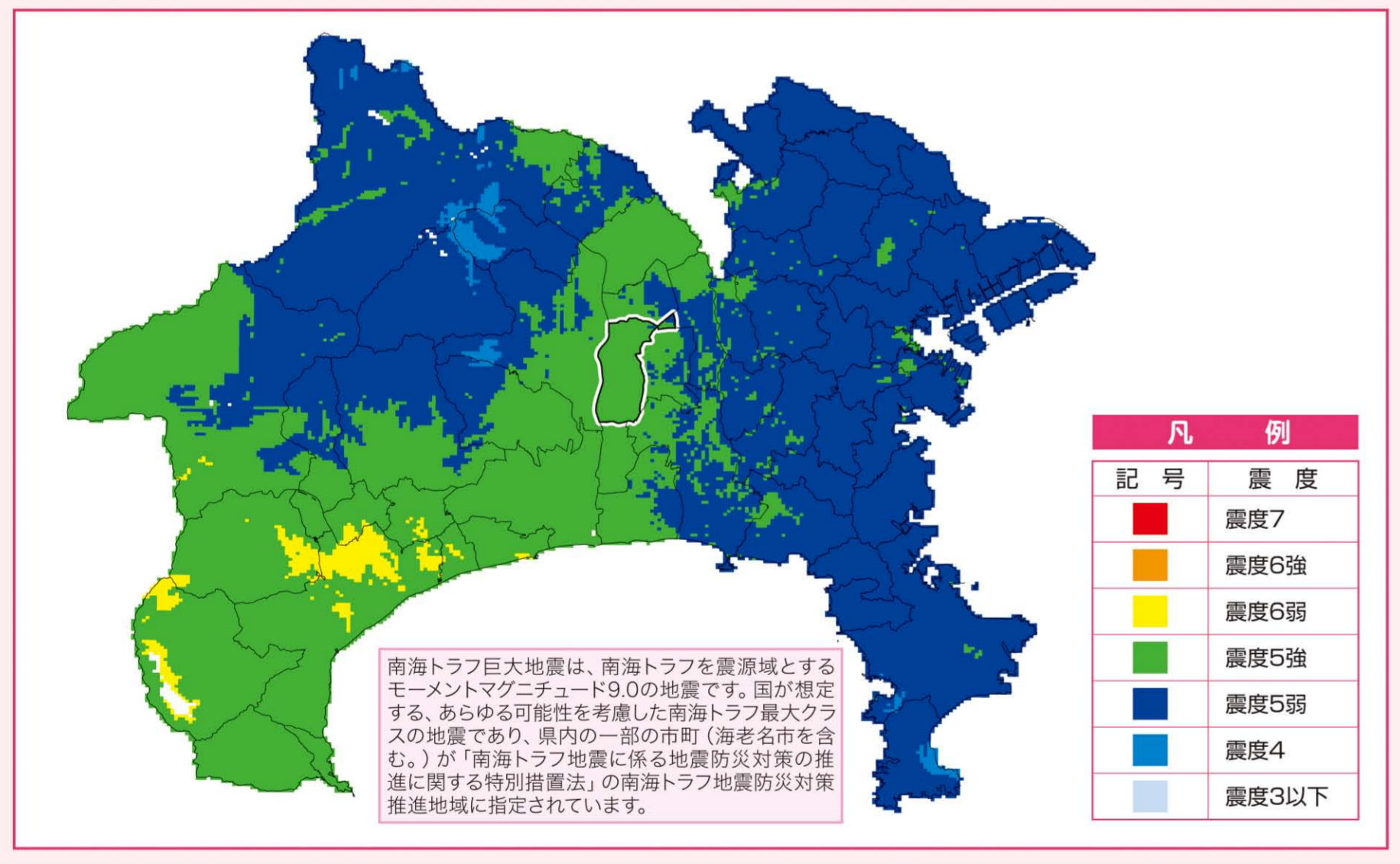
③ 神奈川県西部地震 震度分布図



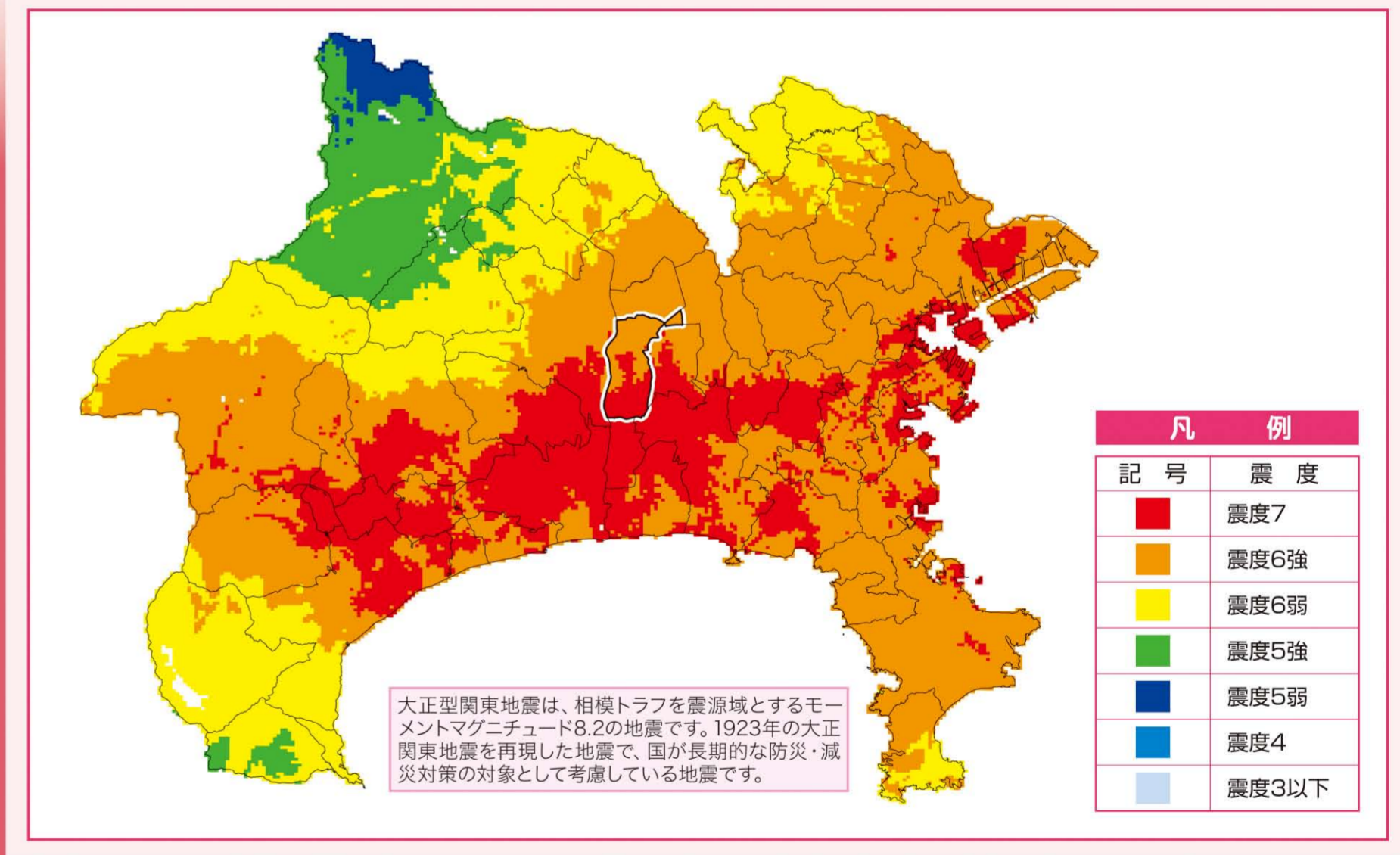
④ 東海地震 震度分布図



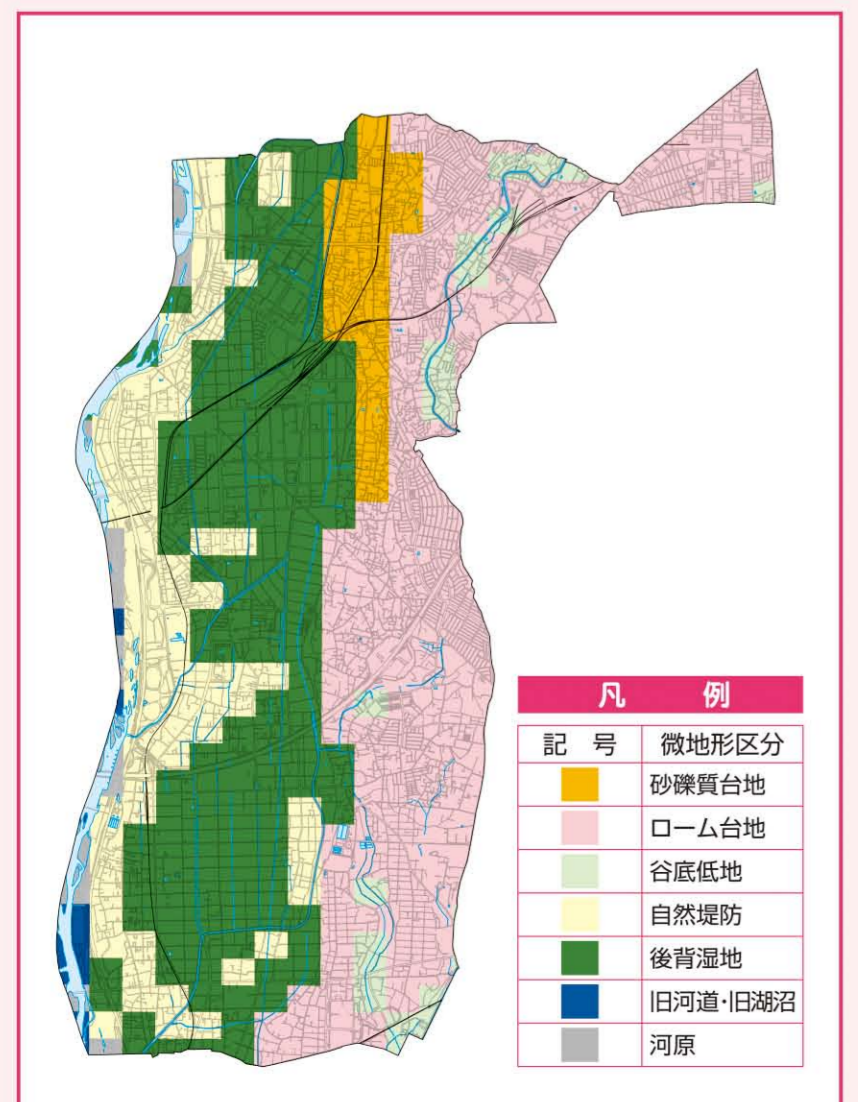
⑤ 南海トラフ巨大地震 震度分布図



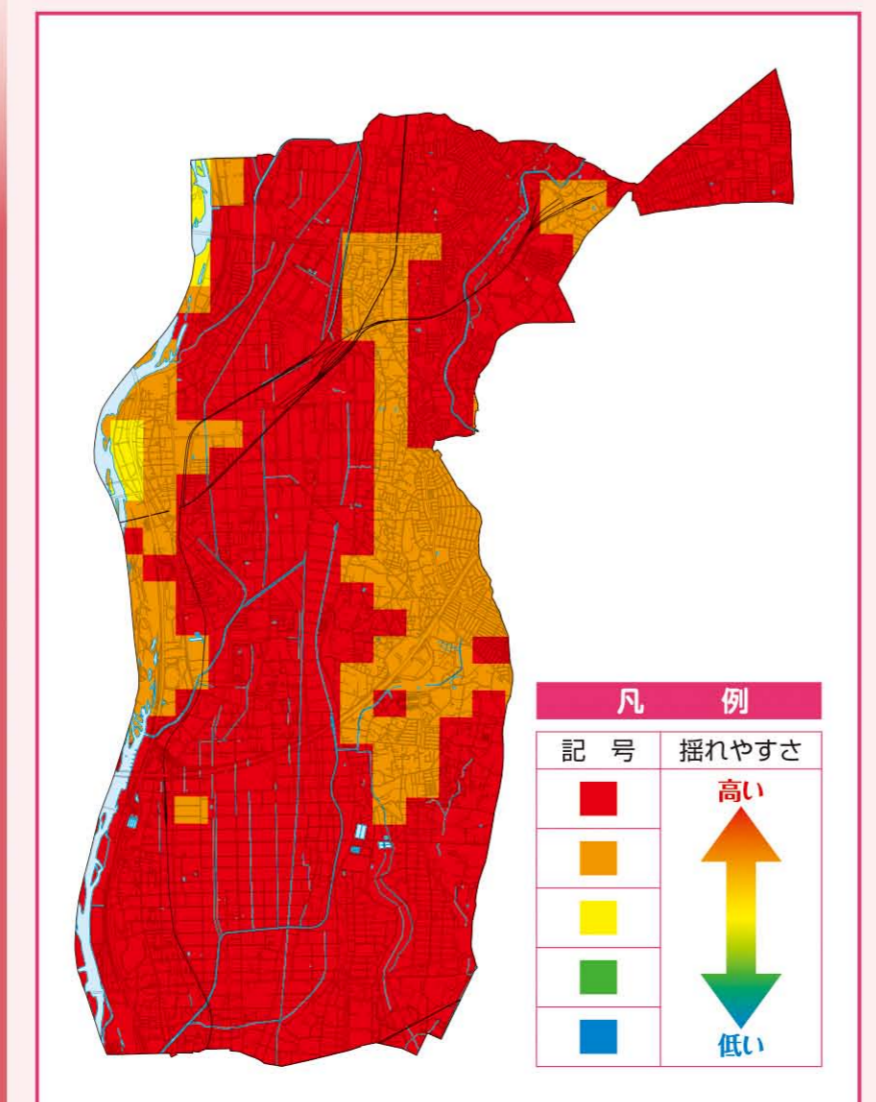
⑥ 大正型関東地震 震度分布図



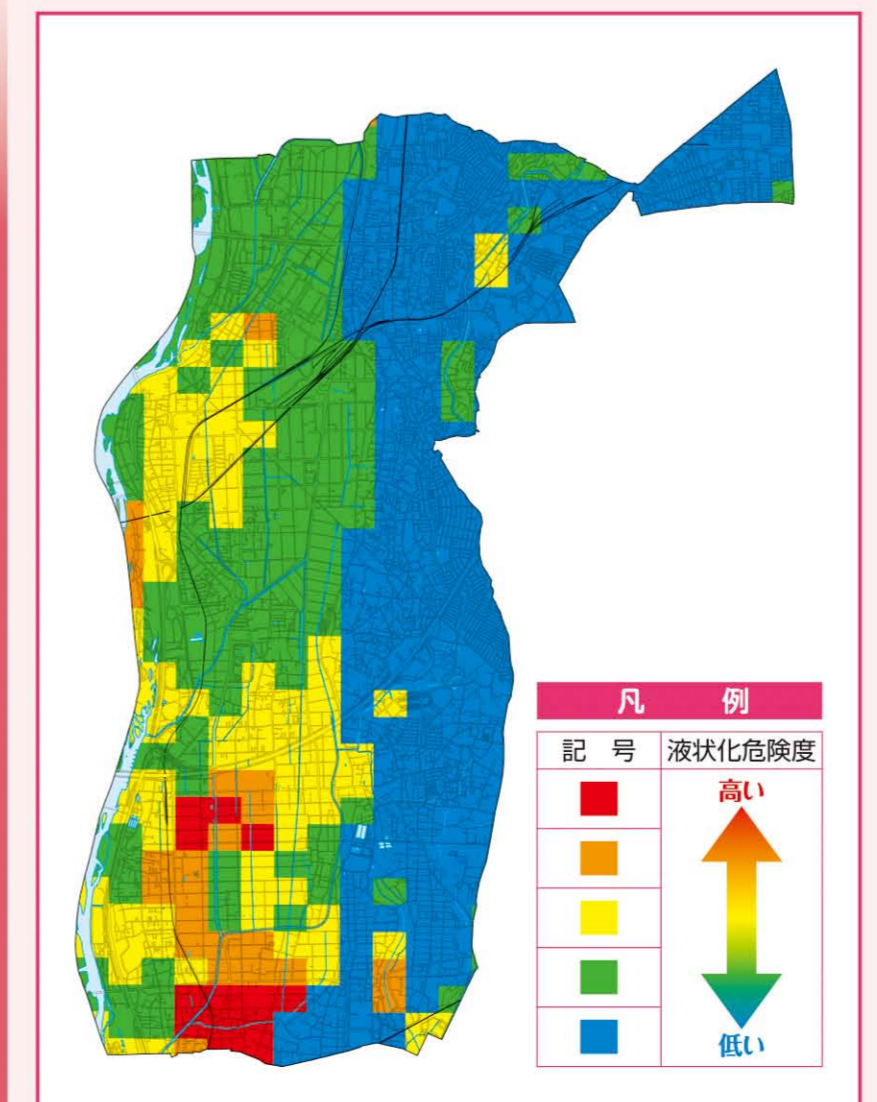
⑦ 微地形区分図



⑧ 揺れやすさマップ



⑨ 液状化危険度マップ



⑩ 説明

①～⑥ 震度分布図
 神奈川県地震被害想定調査（平成27年3月）において、神奈川県に及ぼす被害の量的・地域的な状況や、発生の切迫性などを考慮して選定された地震の震度分布図です。

⑦ 微地形区分図
 微地形とは、地形図上では判別しにくい非常に小規模な地形をいい、これを250m四方メッシュで24種類の微地形に区分したものです。そのうち、海老名市では、7種類の微地形に該当しています。

⑧ 揺れやすさマップ
 神奈川県下の地殻内に一律にモーメントマグニチュード6.8の震源を想定し、ボーリングデータと微地形区分データから増幅度を用いて地表面での揺れやすさを5段階に分類したものです。

⑨ 液状化危険度マップ
 地震が発生した際に地盤が液体状になる現象をボーリングデータと微地形区分図を用いて、5段階に分類したものです。